

第三回 伝統芸能保存フェスタ

第三回つがる市伝統芸能保存フェスタが、9月14日、柏ふるさと交流センターで開催され、7団体が参加、約400人の市民が訪れていました。

つがる市登山囃子保存会

毎年、旧暦の八月一日に行われる津軽地方最大の秋祭りで、国の重要無形民俗文化財に指定されている伝統行事の「お山参詣」のお囃子です。

五穀豊穡と家内安全を祈願し、津軽各地より白装束に身をかためた人々が集まり、「サイギサイギ」というお題目を唱えながら、霊峰



ら、霊峰岩木山に登ります。山頂でのご来光を拝し、下山する時に演奏されるのが下山囃子です。

つがる市鹿島獅子保存会

今より200年以上も前に、



鹿島神社がお授けになり、鹿島様の前でお神楽を行ったというのが始まりと言われているとおります。

弥三郎節保存会

鹿と案内する猿が奥山から降りてきて、川に橋を架けて渡り、森に上がって、お宮に参拝して、神社の庭でお神楽を行うという構成になっています。



津軽地方に伝わる嫁いびりの内容をもった数え唄形式の民謡で、文化5年(1808)、旧森田村の下相野の百姓弥三郎の所に隣村大開の百姓万九郎の娘が嫁に

ホーハイ節保存会

きました。高き裏声を張り上げて歌う旧森田村の盆踊り唄で、日本民謡としては、きわめて特異な発声法を用いており、津軽民謡の中でも異色で、日本のヨーデルともいわれています。由来は、今から430年位前の天正年間、津軽藩の祖津軽為信が、油川城を攻撃した時、落城が叶わず兵士たちの落胆ぶりは相当なものでした。



険しい津軽坂(今の鶴ヶ坂)を越えて津軽藩に帰ることなど到底できそうもなかったそうで、

小湊基幻保存会

そんな兵士たちの士気を鼓舞するために、為信公が峠の「お玉茶屋」で即席に歌ったのが、この歌の始まりと伝えられています。



この唄は、名君と称される四代藩主・津軽信政公が新田開発の拠点として設けた代官所や御飯屋において、20日盆の時に松の木の下に陣取った殿様の前で歌い踊って見せたのが、この唄の始まりと言われているとあります。その昔、物不足の時代は、特別な良いう着物がなく、「ボド」という普段着で踊ったそうで、当時をそのまま再現して「ボド」を着て踊っていました。

出野里獅子踊り保存会

出野里獅子踊りは、320年以上の歴史があり、1680年代に新田開発のため出野里にやってきた武士たちが、出野里の人々に教えたのが始まりとされており、踊りは、三体の



鹿の獅子が、猿の化身である「オガシ」に導かれて橋を渡ります。ところが、雄獅子と中獅子が雌獅子をめぐって激しく争います。やがて、仲直りした三体の獅子たちは、力を合わせて結果をはずし、神聖な世界へと近づいていくという、大変ドラマチックな構成になっています。

嘉瀬奴踊り保存会

嘉瀬奴踊りは、五所川原市金木町に約300年前から伝わる全国的にも有名な盆踊りで、昭和44年12月に「青森県無形民俗文化財」に指定されました。



財」に指定されました。

♪サーサー これから 奴踊り おどる サーサー これから 奴踊り おどる ♪

つがる市老人福祉大会

市では、長年にわたり地域社会の伸展に寄与してきた高齢者に対して敬意を表し祝福するため、9月28日、松の館で「つがる市老人福祉大会」を開催しました。

9月28日、「松の館」で、つがる市老人福祉大会が開催され、長寿者をお祝いしました。

大会で、福島市長は「今日の日本の繁栄があるのは、皆様方が長年に渡り様々な分野でのご活躍により基礎を築いていただいたおかげであります。年々ご長寿の方が増えておりますことは、市民の皆様健康づくりを進めております本市といたしましても、大変うれしく、喜ばしい限りでございます。これから、皆様方がお元気で、楽しくお過ごしいただけるよう、市政の充実・発展に努めてまいりますので、一層のご支援をお願い

いたします」とあいさつ。

続いて、88歳到達者夫婦（青森県知事伝達）3組、結婚60周年（ダイヤモンド婚夫婦は昭和22年1月1日から12月31日の間に婚姻の届出をされた夫婦）を



ダイヤモンド婚で表彰を受けるご夫婦

88歳到達者夫婦（県知事顕彰）

木造林阿曾沼

三浦 兼造・きく江さん

森田町下相野千代倉

三戸 恭一・やゑさん

稲垣町繁田赤旗

尾野不二夫・オナさん



富范保育所は元気いっぱい
のヨッチョレ

長寿番付10傑（19年10月1日現在）

【男性】

順位	氏名	年齢	地区名
1	荒谷 謙太郎	100	柏
2	藤田 要三	99	木造
3	光谷 由松	99	木造
4	渋谷 直隆	98	稲垣
5	坂本 恭太郎	98	車力
6	小山内 喜三郎	97	森田
7	山口 四郎	97	木造
8	佐々木 年雄	97	木造
9	七戸 喜代吉	97	森田
10	葛西 末吉	97	森田

【女性】

順位	氏名	年齢	地区名
1	今 ソワ	104	稲垣
2	伊藤 イソ	100	木造
3	神 イコ	100	車力
4	成田 ミツ	100	木造
5	三橋 とせ	99	木造
6	伊藤 キセ	99	木造
7	野呂 なり	99	稲垣
8	齋藤 たか	99	森田
9	小寺 ちせ	99	車力
10	永田 そよ	98	木造



柏第三保育所は音楽に
合わせてのカラーガード



5月に行われた撤去作業



不法投棄されたごみの山

市内において不法投棄が依然として後を絶ちません。市では、パトロールを行い、監視を強化していますが、不法投棄ごみは多数箇所投棄されています。

「安全・安心なまちづくり」

のため市民一人ひとりが意識を高め、市内から不法投棄をなくすため協力していかなくてはなりません。その一つとして「不法投棄監視システム」を設置し、パトロールを強化していきますので「ごみは市外から持ち込ませない、市内で不法投棄しない」という意識で皆さんの御協力をお願いします。



統合中学校(仮称)校舎新築工事安全祈願祭



本造地区3中学校(木造、木造西、館岡中学校)が統合する、統合中学校(仮称)校舎新築工事安全祈願祭が9月26日、木造中学校敷地内で行われました。

安全祈願祭は、市や工事関係者ら80人が出席して行われ、福島市長は「新築校舎は多目的に利用できるスペースを随所に確保しており、教育活動の機能性を十分に兼ね備えたものであり、つがる市の未来を託す大切な生徒たちの学び舎としてふさわしい立派な校舎の完成を期待します。また、工事に当たり学校運営に支障なく、そして事故がないよう万全を期してもらいたいと思います」とあいさつしました。

《校舎概要》

構造 鉄筋コンクリート造3階建て

延床面積 7745・38㎡

うち 給食施設 261㎡

開校年月日 平成21年4月1日

学級数 18学級

生徒数 486人(平成21年4月1日予定数)

特徴

- ・校舎、体育館をコンパクトにまとめ建設費の圧縮をし、現在の地形、樹木等を生かす工夫がされています
- ・校舎内部には、木材(ヒバ)をふんだんに使用し温かみのある空間となっています
- ・学年ごとに多目的ホールを設け学習に利用できます
- ・給食室の2・3階を小体育館とし卓球やバドミントンを、また体育館は従来より天井を高くし、2階では剣道や柔道等の競技が出来るように配置してあります



安全祈願をする
福島市長



シリーズ

国際交流員のコラム ①

学生の制服を考える

私が初めて日本に来たのは高校生の時でした。

一番驚かされたことは学生の制服でした。日本人の学生はみんな制服を着るので、あまり考えないと思うのですが、一回も制服を着たことがない私には制服はとても面白いです。普通のアメリカの公立高校生に聞けば、制服は嫌いと言わず着るので、アメリカ人が思っているほど悪くはないのでしょう。

実際に制服を見るまでは、私は他のアメリカ人の高校生のように、制服は人の性格を消してしまうものだと思っていました。生徒全員が同じものを着るのは不自由な感じがしました。

しかし、アメリカでは自由ということよりスタイルを重視している高校生があまりにも多いことに気が付いた時、その考えは理にかなっていないと思いました。服を自由に選択できるのはいいですが、ファッショを大事にしすぎる若者が貧乏な生徒をいじめる場合もあります。それに他人が自分の服と似ていないものを着れば友達になれない若者が多く、服は派閥を支えているのではないのでしょうか。

今、私は学生ではありませんが、制服にはたくさん良いことがあることが分かるようになりましたが、といっても、まだ理解できないことが一つ残っています。なぜ日本の制服はいつも性別によって違うのでしょうか。制服が本当に同一にするものだったら、男も女も生徒みんな同じものを着たら公平ではないでしょうか。



国際交流員

DE~NA BERGE

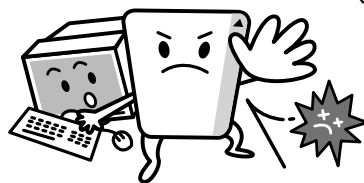
IT社会の パスポート

住基カード⑥

(全10回)

住基カードで安全な電子手続きを

電子申請などの便利なサービスが普及する一方で、フィッシングやスパイウェアによる不正行為で個人のIDやパスワードが盗み出されるといった犯罪が発生しています。住基カードがあれば、公的個人認証サービスの電子証明書を利用して、インターネット上でも安全で確実なオンライン手続きを行うことができます。



【公】 的個人認証サービスを
ご存知ですか? オン
ラインで電子申請や届出など

の手続きをするために必要な「電子証明書」を、全国の市区町村で安価に提供するサービスがすでに始まっています。

※ ※ ※

公的個人認証サービスの電子証明書は、市区町村の窓口で発行を申請すると住基カードの専用利用領域に書き込まれます。

自宅のパソコンなどから電子手続きを行う場合は、パソコンに接続したICカードリーダーライターに住基カードをセットし、電子申請書のデータ名をカードに取り込んで電子署名の処理(暗号化)を行います。この処理が終わると、電子署名が付されたデータがパソコンに戻されます。

この作業の間、パソコン本体に電子署名するための「秘密鍵」のデータが移ることはないのですが、カード内のデータが外部に流出することはありません。このように、なりすましや改ざんの心配なく、安心してオンライン申請をすることが出来ます。

※ ※ ※

公的個人認証サービスは、今後、電気・ガス・医療などの分野でも利用することが検討されています。便利で安心なオンライン手続きに、一度チャレンジしてみませんか?

【問い合わせ先】
市役所 市民課
電話 42・1108

話題

山の神、海の神、里の神大綱引き合戦

9月11日(旧暦8月1日)、岩木山神社で大綱引き合戦が行なわれました。

岩木山神社を「山の神」、高山稲荷神社を「海の神」、猿賀神社を「里の神」として、三神社の選手が神の使者となり、豊年万作大漁を願い大綱引き大会が行われ、神の使者は一所懸命に綱を引き、また観客は手に汗を握って力の入った応援をして、年に一度の合戦を楽しんでいました。海の神の使者は、つがるの意地を見せハッスルしていました。



「つがるの大地に福祉の芽を育てよう」

9月8日、第3回つがる市社会福祉大会が「松の館」で開催されました。

大会は、人との絆を大切にしたい地域社会を目指そうと開催され、オープニングでは牛瀧小児童15名による「虫送り」が披露、「福祉の作文」が5小学校児童により発表が行われました。

また、チャリティー芸能ショーやリサイクルバザー、出店等もあり、参加者は楽しい1日を過ごしました。

農業用廃プラを回収

9月7日、市役所とJA木造町では農業用の廃棄プラスチックを回収し、産廃業者に処分を依頼しました。

早朝から町農協には30台以上の農家の車が、列を作り廃プラを運搬、計量しては産廃業者のトラックへ積み込みしていました。

この日回収された廃プラは28トにもなり、積み込みは夕方までかかりました。

廃プラは、燃やさず適正に処分しましょう。



「火の用心」のぼり旗を寄贈

10月9日、消防本部で全労済青森県本部から「火の用心」のぼり旗100本が寄贈されました。

消防本部嶋田消防長は「火の用心のぼり旗は、地域住民の火災予防運動に大いに寄与するものと確信しています」とお礼を述べました。

今月15日～21日まで行われている、青森県秋の火災予防運動に併せて寄贈されたもので、市内各所に立てられ火災予防を喚起しています。

りんごパトロール隊 出動

9月19日、市役所前で今年の「りんごパトロール隊」の出動式が関係者50名が出席して行われました。

福島市長は「丹精込めて育てたりんごを盗まれることは絶対にあってはならないことで、盗難を防いでいただきたい」とあいさつ、パトロール隊を代表して柴谷亮さんがパトロールにおける決意表明をし、各班一斉に出動しました。

今年も3班に分かれてパトロールを実施します。

